

# 令和2年度 事業計画書

～地域で支え合いみんなが安心して  
心豊かに暮らせるまちづくりを目指して～



支え合いマップ講座(中里)



介護予防ボランティア育成講座(松代)



福祉有償運送運転者養成講習



災害ボランティア支援(長野市北部水害)



社会福祉法人 十日町市社会福祉協議会

## 目 次

<b>1 基本方針</b>	2
<b>2 重点</b>	2
<b>3 部門別の取り組み</b>	3
(1) 福祉部門	
(2) 介護部門	
(3) 総務部門	
<b>4 社会福祉事業</b>	5
(1) 法人運営事業拠点区分	
(2) 地域福祉事業拠点区分	
①地域福祉事業サービス区分	
②共同募金配分金事業サービス区分	
(3) 社福介護保険事業拠点区分	
(4) 障害者居宅介護事業拠点区分	
(5) 社福受託事業拠点区分	
<b>5 公益事業</b>	9
(1) 公益受託事業拠点区分	
①施設管理運営事業サービス区分	
②生きがい活動支援通所事業サービス区分	
③介護予防事業サービス区分	
④要援護者等支援事業サービス区分	
(2) 地域包括支援センター(受託)事業拠点区分	
(3) 公益介護保険事業拠点区分	
<b>6 外郭団体支援</b>	13

# 令和2年度 社会福祉法人十日町市社会福祉協議会事業計画

～地域で支え合いみんなが安心して心豊かに暮らせるまちづくりを目指して～

## 1 基本方針

十日町市社会福祉協議会は、市民一人ひとりが、自ら暮らす地域に積極的にかかわり、年齢、性別、障がいの有無、社会的経済的な地位などにかかわらず、お互いが尊重しあい、生きがいと充実感を得ながら生活できるまちを目指します。そのため十日町市地域福祉活動計画の基本理念「地域で支え合いみんなが安心して心豊かに暮らせるまちづくりを目指して」をスローガンに、基本目標である「心をつなぐ地域づくり」「楽しく暮らせる地域づくり」「安心して暮らせる地域づくり」を推進します。

## 2 重点

### 「地域共生社会への取り組み」と「経営健全化に向けた取り組み」

高齢化や人口減少が進み、暮らしにおける人と人とのつながりが薄れていく中、地域住民や関係機関と協力し、きめ細かく地域課題を探ります。そこから誰もが役割を持ち、支え合うことでその人らしい生活を送ることができるような地域を共に創っていくことを目指します。

また、経営強化に向けた計画の初年度であり、職員一人ひとりが役割と責任を持ち一体となって健全経営に務め、業務効率の適正化と人材育成に取り組めます。

取り組み	内 容
支え合いの仕組みづくり	行政区や隣組単位で小地域の課題を地域住民と話し合い、その課題を見える化して自分のこととして捉え、解決に向けた取り組みや仕組みづくりに努めます。また、生活支援体制整備事業と連動しながら第2層協議体設置につながる取り組みを地域の理解と役割を明確にしながら進めます。
相談・支援体制の強化	生活困窮や権利擁護、ひきこもりなど多様な生活課題に対応するため、十日町市医療福祉総合センターを核とした総合相談体制の構築を、関係する機関と協力して進めます。
経営強化プロジェクトの推進	経営の健全化に向けて、経営強化プロジェクトの実施、進行管理や各種基金の適正な管理を行います。また、それに伴い組織変更を行います。サービスが低下をしないよう組織連携に努めます。

### 3 部門別の取り組み

#### (1) 福祉部門「地域住民との協働と支え合いの体制づくり」

身近な生活地域において、住民が世代や背景を越えてつながり、さらに「支え手」「受け手」という関係も越えて支えあい、共に生きる地域づくり活動に取り組みます。

また、相談支援の充実を図り、十日町市医療福祉総合センターを核とした総合相談体制の構築を進めます。

目標(所属)	内 容
助け合いの仕組みづくり (地域福祉・企画係)	令和元年度は支え合いの仕組みづくり、方法を理解するため、支え合いマップ作成の講座や研修会を行いました。次のステップとして、支え合いマップづくりを小地域(町内単位)で取り組み、地域課題の整理と共有を地域住民、関係機関と図りながら、支え合い、助け合いの仕組みづくりに取り組みます。
相談窓口の周知及び関係機関との連携強化 (生活支援係)	医療福祉総合センターへの移転に伴い、広報誌掲載やチラシの作成、関係機関への訪問や民生委員児童委員協議会での事業紹介など積極的に事業周知します。また、専門機関と共に、ワンストップの相談窓口として迅速かつ適切に対応できる体制づくりに努めます。
ひきこもり支援の充実に向けた環境づくり (川西支所)	開設日以外の相談対応やボランティア活動のつながりなど支援の充実を引き続き図るとともに、訪問や外出の同行、送迎など新規希望者に対して「ふらっと」に来てもらえるまでの環境づくりを整えます。 また、ニーズの掘り起こしや個別の課題に対して、法人内や関係機関と仕組みを模索していく中で連携して支援に取り組んでいきます。
高齢者等の見守り体制の整備 (中里支所)	民生委員児童委員や保健師等の関係機関と連携、情報交換を行い、高齢者世帯や地域の状況を共有し、見守り・支え合いの仕組みづくりに向けた理解と課題共有を進めます。
ひきこもり支援の体制整備 (松代支所)	地域のひきこもりの方や家族の相談窓口、社会生活への支援を行う場として、支所相談室を月2回開放し、当事者や家族が気軽に来所できる居場所を開設します。また、相談内容に応じ職員や関係機関と連携した支援をしていきます。定例日以外にも気軽に来所できる環境を作ります。
“みんなの食堂”の継続開催と事業拡充 (松之山支所)	学校の長期休暇時期の日中開催や介護施設の利用者招待、遠方地域の送迎など、事業を実施していく中で挙げられた新たな課題やアイデアについて、事業協力者や関係機関と検討し内容の拡充を図ります。

## (2) 介護部門「在宅介護事業の適性かつ健全経営の実施と検討」

経営強化の重要策として「居宅介護支援事業所の統合(案)」が示されましたが、一つの事業所だけでなく社会福祉協議会が実施する介護事業全体に目を向けながら検討し、適正で安定した事業運営に取り組みます。また、第8期介護保険計画に向けた十日町市全体の介護事業の動きや人口動態にも着目しながら、先を見据えた事業の在り方の検討を進めます。

目標(所属)	内 容
居宅介護支援事業所統合案 へ向けた研究と検証 (十日町居宅介護支援事業所) (松之山居宅介護支援事業所)	経営強化プロジェクトで示された統合案に向けて、毎月定期的な会議を設け、稼働状況の把握や業務の進捗状況、効率化などについて研究し、利用者・家族への影響が出ないよう多面的に検証を進めます。また、地域包括支援センター単位で行う事例検討会に参加し、地域の理解とスキルアップに繋がります。
計画的な必要書類の整備 (十日町訪問介護事業所)	ケース会議や必要書類の整備を計画的に行うため、職員の勤務体制の見直しを行い、事務時間を確保するため、作業の効率化を進める体制を整えます。 また、常勤職員の会議で必要書類の整備状況を確認するとともに、利用者の実態と課題の把握を行います。
安定した事業経営と終末期の利用者への対応 (十日町訪問入浴介護事業所)	市民に事業を周知するため、ふれあいいいききサロンや老人クラブなど地域の集いの場に出向き、事業紹介を行います。また、終末期の利用者へスピード感のある対応を行うため空き情報を定期的に居宅介護支援事業所へお知らせし、初回相談時から2日以内にはサービス提供できる体制を整えます。
個別ケアサービスの提供と 資質向上 (松之山訪問介護事業所)	職員会議において支援計画や手順書などを再確認し、個別ケアサービスを提供するための情報共有を図ります。また、接遇・虐待等についての内部研修を行い、自己の課題を明らかにして、実践後の自己評価と職員相互での確認を行います。
統一したサービスの提供と 資質向上 (松之山訪問入浴介護事業所)	個々の利用者に応じた介助方法が、どのスタッフでも同様に提供できるよう、十日町訪問入浴介護事業所と連携し、基本的な介護技術、手順を見直し、留意点の共有やサービスの向上を図ります。
地域課題の早期発見と顔の 見える関係づくり (十日町西地域包括支援センター)	ふれあいいいききサロンや運動教室、民生委員児童委員協議会の定例会に参加し、顔の見える関係づくりに努め、意見交換を行いながら住民の声をすぐに拾い上げます。また、多問題を抱えるケースでは、個別支援だけでなく、家族全体への支援ができるよう、行政や多職種と連携して対応する体制を整えます。

### (3) 総務部門「適正な組織経営と財務管理」

適正な組織経営や財務管理に努めます。また、現状の業務を見直し、人員配置の研究や業務の効率化、経費削減を目指すとともに、昨年度から進めている業務マニュアルについても見直しや追加を行います。

目標(所属)	内 容
文書取り扱いマニュアルの見直しと実施準備 (庶務係)	平成 30 年度「文書の取り扱い方法マニュアル」を完成させましたが、組織変更やメールの取り扱いなどの課題からマニュアルに沿って実施することができませんでした。新たな課題の改善、マニュアルの見直しと職員間での共有を図り、令和 3 年 4 月から実施できるよう準備を進めます。
経理業務マニュアルの完成 (経理係)	令和元年度から作成に取り組んだが、完成に至らなかったため、マニュアル作成時間を週間スケジュールで確保し、完成を目指します。

## 4 社会福祉事業

### (1) 法人運営事業拠点区分

No.	事業名	内 容
1	組織体制に関する こと	適正な法人経営や、地域の声を反映するために理事会、評議員会及び監査会を開催します。また、ホームページを活用して、幅広い情報の提供を行います。
2	職員に関する こと	職員の人事や福利厚生に関わる業務を行うとともに、「働き方改革」に沿って健康増進や働きやすい環境づくりを行います。また、研修による職員の資質向上に向けた取り組みを行います。
3	財源に関する こと	会費は貴重な財源となっているため、地域住民や事業所等からご理解をいただけるように丁寧な説明を心がけます。特に、特別会員や広告料を増額させるため、個別の訪問を強化します。また、無駄な経費執行がないか職員間で意識を共有し、経費削減に努めます。
4	会計・経理に関する こと	経理規程に従い、日々の会計処理を適正に行います。会計事務所からの毎月の巡回指導を受けて事業と資金の状況を把握し、指導内容を職員全体で見直すことで会計事務に対する理解を深めます。
令和 2 年度 法人運営事業拠点区分合計		119, 774千円

## (2) 地域福祉事業拠点区分

### ①地域福祉事業サービス区分

No.	事業名	内 容	予算 (前年度予算)
5	ボランティアセンター運営事業	市民のボランティア活動に対する情報発信や団体同士の交流を図る機会の創出、活動紹介、ボランティアの発掘・育成、ボランティア保険の受付などを行います。また、地域の防災・減災に努め、必要に応じて災害ボランティアセンターを確実に設置するために設立した「越後妻有防災ネットワーク協議会」との連携を図ります。	135千円 (1,102千円)
6	福祉団体助成事業	助成金を交付し地域福祉活動の推進を図ります。(①児童遊園地整備②ゲートボール場整備③身体障がい者団体④精神障がい者家族会⑤手をつなぐ育成会)	490千円 (1,374千円)
7	川西高齢者等給食サービス事業	単身高齢者、高齢者世帯、高齢者と子ども世帯など支援が必要な世帯への食の提供と安否確認を行います。 【毎週月曜日・木曜日、年間 96 回】(利用者 35 人、献立ボランティア2人、調理ボランティア「山ゆりの会」68 人配達ボランティア「福寿草」26 人)	1,652千円 (2,069千円)
8	中里高齢者等給食サービス事業	No.7と同じ 【毎週火曜日、年間 46 回】(利用者 18 人、調理ボランティア 87 人、配達ボランティア 20 人)	575千円 (660千円)
9	地域福祉活動計画進捗管理	計画の進捗状況を確認し、各種事業の取組内容を検証し、中間評価及び次期計画策定に向けた取り組みを進めます。	0千円 (0千円)
10	24 時間テレビチャリティ募金協力	24 時間テレビ募金活動への協力とボランティア活動の啓発を行います。【8月下旬】	11千円 (32千円)
11	生活福祉資金貸付事業	新潟県社会福祉協議会が実施する、低所得者、高齢者、障がい者に対して経済的自立と生活意欲の助長を図る資金貸付事業の受付相談を行います。	1,955千円 (1,417千円)
12	法外援護金貸与事業	不測の事態による緊急援護を必要とする人に援護金を貸し付けし、自立を図ります。	60千円 (60千円)
13	法人後見事業	認知症等により、判断能力が十分ではない方に、身の回りに配慮した財産管理や介護サービス等の契約、本人の権利を擁護した生活を支援します。 また、制度普及のための研修会を実施します。	3,280千円 (1,265千円)
14	広報誌発行事業	市民に社協活動の理解を深めてもらうために、事業案内や活動報告を行います。 「社協とおかまち」の全戸配布【年6回】	1,737千円 (1,786千円)
15	福祉有償運送運転者養成講習事業	福祉有償運送事業所の運転者確保に向け、運転者講習会を開催します。(年2回) また、新規事業所の設置について、相談支援を行います。	180千円 (116千円)

16	収集ボランティア事業	身近なボランティア活動として、使用済み切手やペットボトルキャップ、アルミプルタブなどの活用方法及び回収事業者を紹介し、市民から気軽に参加してもらえるようPRを行います。	36千円 (36千円)
17	松代見守り活動事業	高齢者や認知症等により世帯人員だけでは生活に不安がある方に対し、身近な方か訪問や声かけを行います。また、ボランティア活動振興事業で行っていた子ども見守り活動事業を移行し実施します。	45千円 (53千円)
18	松之山シニア世代ボランティア活動支援事業	高齢者世帯と地域のふれあいいきいきサロンへボランティアによる手作り弁当のお届けと見守り活動を行います。【年7回】	186千円 (231千円)
19	松之山学生ボランティア体験事業	松之山産業祭にて「子どもの遊び場」を開催し、運営スタッフとして市内高校生に初めてのボランティア体験の場を提供します。	3千円 (11千円)
令和2年度 地域福祉事業サービス区分合計			10,345千円

## ②共同募金配分金事業サービス区分

No.	事業名	内 容	予算 (前年度予算)
20	寝具洗濯・乾燥事業	心身のリフレッシュを目的に、在宅寝たきり高齢者や重度障がい者の寝具洗濯と乾燥費用を助成します。(上限 4,000 円)	160千円 (160千円)
21	地域福祉活動助成事業	地域での支え合い、福祉ニーズの早期発見を目指して、地域福祉活動の拠点として活動を展開できるような助成、活動支援を行います。(5 福祉会 + 2 振興会)	2,068千円 (2,144千円)
22	ふれあいいきいきサロン助成事業	高齢者や障がい者、子ども等の閉じこもりや孤立感の解消を図ることを目的に各地域で住民が自主運営する「ふれあいいきいきサロン」に助成金を交付し、サロン傷害保険加入の手続きを行います。	4,036千円 (2,541千円)
23	支え合いマップづくり事業	小地域での支え合いマップ作りを通じて、抽出した地域課題を我がこと課題、さらには地域全体の課題として捉え、課題解決に向けた取り組みや仕組みづくりを地域住民と話し合いながら進めます。 【川西地域】選定したモデル集落とともに見守りマップを作成し、活動を実施します。	330千円 (240千円)
24	十日町高齢者等給食サービス事業	No.7と同じ 【第1・3週は調理ボランティアの弁当、年間23回】【第2.4.5週は業者の弁当】(火曜日:新座・美佐島・川治・下条、水曜日:中条・水沢、木曜日:十日町・吉田)	2,087千円 (3,614千円)
25	松之山みんなの食堂	子どもを中心として誰でも参加できる地域の拠点をつくります。幅広い世代の方々が一堂に会し、夕食を楽しむことで、多世代交流や新たなボランティアの発掘を行います。【年5回】	196千円 (186千円)



26	十日町福祉協力員 設置事業	地域の生活課題や住民目線での福祉ニーズを把握するために、福祉協力員を設置し、助け合いの仕組みづくりに向けた取り組みに協力してもらいます。	135千円 (104千円)
令和2年度 共同募金配分金事業サービス区分合計			9,012千円
<b>令和2年度 地域福祉事業拠点区分合計</b>			<b>19,357千円</b>

### (3) 社福介護保険事業拠点区分

No.	事業名	内 容	予算 (前年度予算)
27	十日町訪問介護事業	介護予防・日常生活支援総合事業及び要介護認定を受けた高齢者等の自宅に訪問介護員が訪問して、身体介護サービスや生活援助サービスを行います。(介護保険法第8条第2項に規定する訪問介護事業及び第8条の2第16項に規定する特定介護予防・日常生活支援総合事業)	52,659千円 (59,473千円)
28	松之山訪問介護事業	No.27と同じ	16,844千円 (17,190千円)
<b>令和2年度 社福介護保険事業拠点区分合計</b>			<b>69,503千円</b>

### (4) 障害者居宅介護事業拠点区分

No.	事業名	内 容	予算 (前年度予算)
29	十日町障害者居宅介護事業	障がい者の自宅に訪問介護員が訪問して、身体介護サービスや家事援助サービスの提供、入浴介護サービスの提供及び外出時の移動を支援します。 ・居宅介護(障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第123号に規定する障害福祉サービス) ・訪問入浴、移動支援(障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第123号に規定する地域生活支援事業で市からの受託事業)	13,080千円 (14,210千円)
30	松之山障害者居宅介護事業	No.29と同じ	37千円 (37千円)
31	十日町障害者同行援護事業	視覚障がい者の外出時において、同行援護従業者養成研修修了者が同行し、移動に必要な情報提供や援助を行います。(障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第123号に規定する障害福祉サービス)	97千円 (277千円)
<b>令和2年度 障害者居宅介護事業拠点区分合計</b>			<b>13,214千円</b>

## (5) 社福受託事業拠点区分

No.	事業名	内 容	予算 (前年度予算)
32	羽根川荘管理運営	<p>高齢者同士の交流を通じて、生きがい活動及び健康づくりを推進し、介護を必要とする状態になることを予防します。</p> <p>【火曜日～金曜日】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の利用受付、利用料徴収</li> <li>・市内巡回バス運行による利用者の送迎</li> <li>・センター利用者交流事業</li> <li>・けんこう体操教室(月2回)</li> <li>・季節行事の計画と実施</li> <li>・地域団体等事業協力</li> </ul>	10,100千円 (10,487千円)
33	日常生活自立支援事業	<p>自分ひとりの判断で生活することに不安がある認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、福祉サービス利用援助を中心とした日常的金銭管理や書類等の預かり支援を行います。</p>	7,439千円 (14,860千円)
<b>令和2年度 社福受託事業拠点区分合計</b>			<b>17,539千円</b>

## 5 公益事業

### (1) 公益受託事業拠点区分

#### ①施設管理運営事業サービス区分

No.	事業名	内 容	予算 (前年度予算)
34	はあとふる川西管理運営	<p>「はあとふる川西」が、住民の健康と福祉の増進を図られるように管理運営を行います。</p> <p>施設の維持管理と利用の受付、利用料徴収</p>	2,867千円 (2,847千円)
35	松代ゆうあいセンター管理運営	<p>高齢者の介護予防の拠点施設として、利用者に対し、安全で快適な場を提供し、活発な交流や仲間づくりの活動が行われるように施設の適正な管理を行います。</p> <p>施設の維持管理と利用の受付、利用料徴収</p>	1,883千円 (1,314千円)
<b>令和2年度 施設管理運営事業サービス区分合計</b>			<b>4,750千円</b>

## ②生きがい活動支援通所事業サービス区分

No.	事業名	内 容	予算 (前年度予算)
36	茶ぼっこ	概ね65歳以上の高齢者を対象に、茶話会、レクリエーション、体操、季節行事などを通じて、仲間づくりや健康維持など介護予防を行う場を提供します。 (はあとふる川西)【毎週火・水・金曜日】	3,979千円 (4,053千円)
37	あったかホーム	No.36と同じ(橘高齢者コミュニティセンター) 【毎週月曜日】	1,601千円 (1,733千円)
38	木の芽会	No.36と同じ(中里保健センター)【毎週金曜日】	2,235千円 (2,068千円)
39	松代ゆうあいセンター	No.36と同じ(松代ゆうあいセンター)【週3回】	5,090千円 (6,260千円)
40	ほのぼの教室	No.36と同じ(松之山保健センター)【毎週水曜日】	2,214千円 (2,316千円)
令和2年度 生きがい活動支援通所事業サービス区分合計			15,119千円

## ③介護予防事業サービス区分

No.	事業名	内 容	予算 (前年度予算)
41	介護予防ボランティア育成事業	高齢者の介護予防活動に興味があり今後地域で活動を希望する方及び現在活動をしていてその活動に生かしたい方を対象に、介護予防の知識と理解を深める講座を開催します。また、介護予防ボランティアを紹介できる体制を整えます。【3回実施+過去に受講者したボランティアのフォロー研修】	1,160千円 (1,762千円)
42	生活支援体制整備事業	各地域の生活課題や地域ごとの福祉ニーズを集約し、同時に設置される第1層協議体と協議し、行政への提言を行います。また当会ができることや関係する団体、地域住民等が新たに担える役割を検討し、多様なサービスが開発される環境づくりに取り組みます。	5,705千円 (5,882千円)
43	生活支援サポーター養成事業	介護予防・日常生活支援総合事業で行う緩和型の訪問・通所サービスに従事するサポーターを養成する事業です。介護の担い手が不足していく中、高齢者が地域で暮らせるよう、生活支援の担い手を養成します。 (3会場予定)	1,013千円 (1,052千円)
44	訪問型サービスB事務事業	総合事業の「訪問型サービスB」の事務局を担い、事業のスムーズな進行を行います。 (サービスB 5事業所)	2,425千円 (2,149千円)
令和2年度 介護予防事業サービス区分合計			10,303千円

#### ④要援護者等支援事業サービス区分

No.	事業名	内 容	予算 (前年度予算)
45	要援護世帯除排雪 援助事業	高齢者、障がい者世帯等の除排雪が困難な世帯へ除排雪経費の助成(除雪事業者等への支払い)を行います。	1,662千円 (1,733千円)
46	高齢者安心サービス事業	在宅生活上での困りごとのある高齢者に対し、市内に住むボランティアによる軽易な作業が受けられることにより、高齢者が住み慣れた自宅・地域で安全・安心して生活ができることを目的とします。また、サービスを提供したボランティアにはポイントを付与することで地域社会の相互扶助を基調に、住民相互の助け合いが日常的に行われるようなまちづくりへの動機づけを図ります。	1,963千円 (1,954千円)
47	生活困窮者自立支援事業	生活困窮者が抱える多様で複合的な問題に対して相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行うとともに、支援の種類及び内容等を記載した計画を作成し、生活困窮者の自立の促進を図ります。また、生活困窮者が自立するための社会資源の開発に努めます。	13,599千円 (12,349千円)
48	松代食の自立支援事業	65歳以上で食事による栄養確保・安否確認が必要な住民に対し、昼食弁当を配達します。(利用登録20人、調理…2業者、配達…2団体「ひだまり」「しぶみの家」)【毎週火曜日・金曜日】	1,224千円 (1,392千円)
49	松之山食の自立支援事業	No.48と同じ (利用登録19人、調理…地域内業者、配達…ボランティア)【毎週火曜日・金曜日】	936千円 (864千円)
50	食料支援事業	不測の事態による緊急援護を必要とする人に食料を支給し、自立を図ります。	200千円 (300千円)
51	ひきこもり支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひきこもり等の居場所(川西支所・松代支所) ひきこもり者等が、家から一歩踏み出し、参加者同士で交流を図ることにより、社会参加へのきっかけにすることを目的に居場所を開設します。【各会場月2回】</li> <li>・ひきこもり家族交流会(中里支所) 同じ悩みを持つ家族が集い、体験を語り合い、情報交換等を行うことにより、気持ちを分かち合い、不安や悩みを軽減することを目的に行います。【月1回】</li> <li>・ひきこもりサポーター派遣 本人の家庭等を訪問し、本人及びその家族を支援するひきこもりサポーターを派遣します。</li> </ul>	787千円 (1,500千円)
令和2年度 要援護者等支援事業サービス区分合計			20,371千円
<b>令和2年度 公益受託事業拠点区分合計</b>			<b>50,543千円</b>

## (2) 地域包括支援センター(受託)事業拠点区分

No.	事業名	内 容	予算 (前年度予算)
52	地域包括支援センター運営事業	<p>松代・松之山地域の高齢者が住み慣れた地域で、その人らしい生活を継続することができるように心身の健康の維持、保健・福祉・医療の向上及び安定した生活を送るために必要な援助・支援を包括的にを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合相談支援事業</li> <li>・虐待の防止や早期発見、権利擁護事業</li> <li>・地域社会資源を活用し支援体制を構築する包括的継続的ケアマネジメント事業</li> <li>・地域ケア会議の開催</li> <li>・認知症サポーター養成講座の小・中学校での開催</li> </ul>	18,571千円 (20,401千円)
53	出前講座事業	高齢者が集まる場に出向き、介護予防の必要性(運動・口腔・栄養・認知症予防)を促します。また、講師を派遣し、主体的に介護予防に取り組めるように支援を行います。(全20回)	439千円 (336千円)
54	介護予防支援事業	介護度「要支援1,2」の方に、自立を促せるように利用者本人の心身の状況、本人や家族の意向を踏まえた介護予防プランを作成します。また、関係者と介護保険等サービスの利用に向けた連絡調整を行います。	1,845千円 (2,780千円)
55	介護予防日常生活支援事業	「介護度要支援1,2の方」及び「基本チェックリスト該当者」に、利用者本人の心身の状況、本人や家族の意向を踏まえた適切な介護予防ケアマネジメントを行い、総合事業等のサービスを利用していただき自立を促します。	1,378千円 (3,076千円)
<b>令和2年度 地域包括支援センター(受託)事業拠点区分合計</b>			<b>22,233千円</b>

## (3) 公益介護保険事業拠点区分

No.	事業名	内 容	予算 (前年度予算)
56	十日町訪問入浴介護事業	要介護認定を受けた高齢者等の自宅に浴槽を持ち込み、看護師1人と介護員2人で入浴介護サービスを行います。(介護保険法第8条第3項に規定する訪問入浴介護事業及び第8条の2第16項に規定する予防訪問入浴介護事業)	30,885千円 (27,356千円)
57	松之山訪問入浴介護事業	No.56と同じ	6,519千円 (5,968千円)

58	十日町居宅介護支援事業	総合事業対象者・要支援者・要介護者が、地域で個々の能力に応じて自立した日常生活を送られるように、必要なサービスを利用するための介護サービスを計画し、利用者・家族を支援します。(介護保険法に規定する居宅サービス事業で、介護保険法第79条～第85条に定める指定居宅介護支援事業者)	17,907千円 (18,414千円)
59	松之山居宅介護支援事業	No.58と同じ	30,490千円 (29,254千円)
<b>令和2年度 公益介護保険事業拠点区分合計</b>			<b>85,801千円</b>

## 6 外郭団体事務支援

No.	事業名	内容
1	十日町市共同募金委員会	地域福祉の推進のため、共同募金運動を行う団体 【内容】各種会議、募金運動、助成審査、災害見舞
2	日本赤十字社十日町市地区	「いのちを救う」、「せいかつを支える」、「ひとを育む」を目的とした赤十字活動を地域へ普及するための団体 【内容】各種会議、奉仕団助成、救急法講習、災害見舞
3	赤十字安全奉仕団十日町市分団	初期救命における自己の技術を人々に奉仕し、あらゆる機会に人命の尊重に寄与する団体 【内容】各種会議、団員研修、各種講習会の実施
4	十日町市身体障害者団体連絡協議会	市内の身体障がい者福祉の推進を目的とした団体 【内容】各種会議、地域交流、上部団体主催事業の参加
5	十日町市母子福祉いつ美会	市内の母子寡婦者福祉の推進を目的とした団体 【内容】各種会議、交流会(6月・9月予定)、上部団体主催事業の参加
6	十日町市津南町連合遺族会	十日町市、津南町の戦没者遺族による団体 【内容】各種会議、合同慰霊祭、上部団体主催事業の参加
7	十日町市遺族会	十日町地区の戦没者遺族による団体 【内容】各種会議、上部団体主催事業の参加
8	十日町地区遺族会	十日町中央地区の戦没者遺族による団体 【内容】各種会議、忠魂碑清掃、上部団体主催事業の参加
9	越後妻有防災ネットワーク協議会	防災・減災の普及活動、災害時の復旧を目的とした団体 【内容】定例会(学習会)、イベントの開催(年1回)
10	だんだん会	官民協働して包括的にひきこもり支援を行う団体 【内容】定例会、研修会、後援会の企画開催、情報誌作成
11	妻有地域包括ケア研究会	十日町市、津南町の社会福祉法人、行政が一体となって包括ケアシステムの構築を目指す団体 【内容】各種会議、研修会、講演会の企画と開催

12	川西地区身体障害者互助会	川西地域の身体障がい者福祉の推進を目的とした団体 【内容】各種会議、研修旅行、上部団体主催事業の参加
13	川西連合遺族会	川西地域の戦没者遺族による団体 【内容】各種会議、上部団体主催事業の参加
14	川西地区ボランティア連絡協議会	川西地域ボランティア団体間の連携を目的とした団体 【内容】各種会議、研修旅行、ポイント付与・管理
15	施設ボランティア「四葉の会」	デイサービスセンター「ファミール川西」のボランティア 【内容】各種会議、施設ボランティア活動(シーツ交換等)
16	スノーボランティア「夢雪隊」	要援護世帯の屋根の雪下ろしボランティア 【内容】各種会議、屋根の雪下ろしボランティア活動
17	川西地区赤十字奉仕団	日常生活の中で地域に根ざした助け合い活動を行う団体 【内容】各種会議、炊き出し訓練、障がい者余暇支援ボランティア活動、上部団体研修会の参加
18	中里身体障害者福祉団体協議会	中里地域の身体障がい者福祉の推進を目的とした団体 【内容】各種会議、地域交流、上部団体主催事業の参加
19	中里地区遺族会	中里地域の戦没者遺族による団体 【内容】各種会議、上部団体主催事業の参加
20	中里地区ボランティア友の会	中里地域ボランティア団体間の連携を目的とした団体 【内容】各種会議、研修会
21	松代地域身体障がい者福祉会	松代地域の身体障がい者福祉の推進を目的とした団体 【内容】各種会議、親睦旅行、上部団体主催事業の参加
22	松代地域遺族会	松代地域の戦没者遺族による団体 【内容】各種会議、慰霊祭、上部団体主催事業の参加
23	松代地域手をつなぐ育成会	松代地域の知的障がい者福祉の推進を目的とした団体 【内容】各種会議、研修旅行、収益事業(そば販売)、上部団体主催事業の参加
24	松之山地区心身障害者福祉会	松之山地域の障がい者福祉の推進を目的とした団体 【内容】各種会議、親睦旅行、上部団体主催事業の参加
25	松之山地区遺族会	松之山地域の戦没者遺族による団体 【内容】各種会議、招魂祭・慰霊祭、上部団体主催事業の参加